

令和8年3月17日

陸前高田市議会議長 及川修一様

広聴広報特別委員会議会だより編集小委員会
委員長 福田利喜

令和7年度 管外行政視察報告

広聴広報特別委員会議会だより編集小委員会の管外行政視察の概要を下記のとおり報告いたします。

記

1 期 間 令和8年1月14日（水）～15日（木）

2 行政視察地及び研修項目

(1) 埼玉県北葛飾郡杉戸町（人口 43,152人 R8.1.1現在）

議会広報について

(2) 株式会社 会議録センター

議会だより研修

3 出席委員等

委員長 福田利喜 副委員長 大和田 加代子

委員 佐々木 良麻 委員 菅野 秀一郎

委員 伊勢 純 委員 佐々木 一義

委員外委員 鵜浦 昌也

随 行 志田 一朗（主任）

4 行政視察概要 別紙報告書のとおり

広聴広報特別委員会議会だより編集小委員会行政視察報告

広聴広報特別委員会議会だより編集小委員会では、今後の市議会だより発行の参考とするため、埼玉県北葛飾郡杉戸町において「議会広報について」行政視察を行い、株式会社 会議録センターにおいて「議会だより研修」を受講しました。

○埼玉県北葛飾郡杉戸町「議会広報について」

杉戸町議会は、令和6年度町村議会広報全国コンクールにおいて、表紙デザイン賞銅賞を入賞されるなど、議会だよりのリニューアルに取り組まれています。

同町議会の広報は、7名の委員で構成される議会だより編集委員会が所管し、16又は20頁で年4回の発行となっています。

広報の編集方針として、町民の視点に立った議会だよりを作成することを目指し、「すぎと」の3文字を頭文字にした方針を定めています。また、特集ページとして町民にインタビューした内容を掲載し、議事については町民に直接影響が大きい事項を掲載しています。

これらの取り組みは令和5年8月の改選後から始まり、行政視察や議会広報クリニックへの参加を経て、議員自らの手で行えることからリニューアルを進めておられます。主な変更点として、若者を意識したデザイン重視の表紙、写真を多用した目を引く紙面、町民が多く登場する特集記事などが挙げられました。

説明後の質疑及び意見交換では、デザイン上の誓約を無くすためのファイリング用の穴の廃止や市民の掲載人数カウンター、議会だよりの配架先の多様さなど、今後の議会だよりに生かせる内容が多く得られました。

○株式会社 会議録センター「議会だより研修」

議会だより研修としてページ構成とレイアウト、スマートフォンでの撮影、校正のポイントについて受講しました。

まず、ページ構成とレイアウトについて、読者の目線と読む順番を意識することの重要性やそのための手法の説明を受け、実際のりくぜんたかた市議会だよりの紙面を用いてレイアウトの改善すべき点について研修を受けました。また、文字や写真の大きさの比率や余白の効果について実例を見ながら学びました。

次に、スマートフォンでの撮影について、活用すべき機能設定や具体の撮影技法の説明を受けました。

最後に、校正のポイントについて、8つのポイントに分け、実例を示されながら学びました。

今回の研修の内容は全て実践的であり、今後の議会だよりの作成ですぐに活用できるものでした。